

自他理解能力を育むことを目指した体験的な学習の系統性

総合的な学習の時間 単元「おしごとトライ！」

【東広島市立御園宇小学校第1学年】

時期	道徳	教科 (生活科を除く)	生活科	特別活動
7月		教科「国語」 単元「みんなに知らせよう」 ※ねらい：自分の伝えたいことを書いたり話したりする。 【ア】：自分の意見や気持ちを分かりやすく表現する。	単元「ともだちいっぱい」 ※ねらい：学校や地域の人や幼稚園の友達とのかかわりを広げたり深めたりして、学校生活のよさを見つけ、自信をもって楽しく過ごす。 【ア】：友達と仲良く遊び、助け合う。	
8月 9月		教科「体育」 単元「表現、リズムあそび」 【ア】		学校行事「運動会」 ※ねらい：健康の保持増進と体力の向上を図るとともに、自立・協力・厚生・責任などの態度を育てる。
10月			単元「おしごとトライ！」 ※ねらい：仕事にはいろいろな手順があることに気づき、自分のできることを見つけ、進んで行動する。 【ア】：友達と協力して学習や活動に取り組む。	学級活動「せきにんをもってやろう」 ※ねらい：給食当番の仕事や係りの仕事のやり方を知って、進んで仕事をすることができる。
11月	単元「一日十分」 礼儀1-(2) ※ねらい：自分がやらなければならない勉強や仕事はしっかりと行う。 【ウ】：決められた時間や決まりを守ろうとする。			学校行事「学校祭」 ※ねらい：演劇や合奏など地域の文化発表を学習した成果を発表する。
12月	単元「かんしゃのこころ」 ※ねらい：日頃お世話になっている人に感謝する心をもつ。 【ア】：お世話になった人などに感謝し親切にする。		単元「みんな大すき」 ※ねらい：地域の人や幼稚園の友達との交流を計画し、実行して、関わりを深める。 【ア、エ】：友達と仲良く遊び助け合う。	学校行事「JICA交流」 ※ねらい：触れ合いを通してコミュニケーション能力を拡げる

図中の単元をつなぐ太い直線は、本単元で身に付けさせたい自他理解能力の系統性を示しています。  
※図中の【ア、イ、ウ、エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力，【イ】情報活用能力，【ウ】将来設計能力，【エ】意思決定能力を示しています。

## 事前・事後の指導における系統性をもった体験的な学習の授業実践例(小学校)

### 自他理解能力育成の視点を取り入れた授業

生活科 単元「おしごとトライ！」

【東広島市立御園宇小学校第1学年】

#### キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- この学習の前には、「みんなに」や「ともだち」とのかかわりが扱われており、事後の学習内容は、「仕事」や「せきにん」についてのものとなっている。発達段階に応じて、自己と他者との違いを認め合う段階が必要である。
- 本時では、おむすびに関心を持たせるために、五感でおむすびのおいしさを感じさせるカードを用いて気付きを書かせ、発表をしやすい工夫がされている。

1 学年 第1学年

2 科目名 単元名 生活科「おしごとトライ！」

3 単元(題材)の目標

- 自分でできることを進んでやろうとする。
- 自分たちがした仕事について話し合い、仕事の手順などについて考えることができる。
- 家庭で自分ができることや自分の役割に気づくことができる。
- 仕事はいろいろな手順をふんでできることに気付き、自分たちができるようになったことを確かめることができる。【自他理解能力】

ゴシック体の部分は、  
キャリア教育の視点  
を示しています。

4 指導と評価の計画(全13時間)

次	学習内容(時数)	評 価			評価規準 【キャリア教育の視点】	評価方法
		関心・意欲・ 態度	思考・表現	気付き		
1	「おしごとトライ！」を計画しよう 計画・発表する(3)	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族と相談して、夏休みに継続してお手伝いしようとするができる。</li> <li>・ お手伝い(仕事)のやり方と大変だったことやうれしかったことなどを発表できる。</li> </ul>	観察法(行動) 観察法(発表)
2	「おしごとトライ！」をしよう 課題を追求する(8) (本時5/8)	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭での仕事に興味・関心をもち、仕事に使うものや、やり方を家族に聞くなどして調べるができる。</li> <li>・ 仕事は手順をふんでできることに気付き、自分たちができるようになったことを確かめることができる。【自他理解能力】</li> </ul>	観察法(ワークシート) 観察法(行動)
3	「おしごとトライ！」をつづけよう 広げる(2)	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級や家庭での仕事について考え、自分の役割を果たし、できることは自分で進んでやってみようとする意欲をもつことができる。</li> </ul>	観察法(行動)

5 本時の目標

- 分かったことや見つけたことをカードにまとめ、話し合うことができる。
- 仕事は手順をふんでできることに気づき、自分たちができるようになったことを確かめることができる。【自他理解能力】

6 本時の指導過程

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分でつくったおむすびを食べた感想を発表する。</li> <li>○ 本時の目当てを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分でおにぎりを結べたことやおいしかったこと等の達成感満足感を表現させる。</li> </ul>	
展開	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">おいしいおむすびのひみつをさぐろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ おむすびトライをして、わかったこと、見つけたことを話し合う。</li> <li>○ ビデオで撮影してあったむすぶところを見て、思い出す。</li> <li>○ 発見カードを発表する。</li> <li>○どのくらいの力で手の形はどんな風にしてむすぶとよいか考える。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・となりの人に自分の考えを伝える。</li> <li>・クラスで発表し合う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ おいしいおむすびのひみつをさぐって、家でもつくってみようという気持ちをもたせる。</li> <li>・ 前時に目・耳、鼻、手、口の五種類のカードに五感別に書き込んでくるように指示する。</li> <li>・ 多くのことに気づいたことを評価する。</li> <li>・ ともだちの発表を聞きながら、自分の経験をもとに考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 分かったことや見つけたことをカードにまとめ、話し合うことができる。</li> <li>○ 仕事は手順をふんでできることに気づき、自分たちができるようになったことを確かめることができる。【自他理解能力】</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これからはどんな風にむすぶたいか確認する。</li> <li>○ ワークシートに自分の考えを書く。</li> <li>○ 数人発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日の学習をもとに考えるように指示する。</li> </ul>	